

令和2年 3月13日
九州地方整備局
長崎河川国道事務所

令和2年3月16日（月）14：00に
江上交差点の立体化がすべて完成します。
～交通渋滞の緩和や交通安全性の向上に期待～

立体完成日時 : 令和2年3月16日（月）14：00～

○この度、江上交差点区間（延長0.5km）において、本線部立体化工事が3月16日（月）に完成することになりましたのでお知らせします。

※天候などにより、日時が変更となる場合があります。

○国道205号針尾バイパス（延長5.9km）は、佐世保市南部の慢性的な交通渋滞の緩和及び西九州自動車道へのアクセス向上などを目的とする道路です。

○江上交差点の立体化により、以下の効果が期待されます。

- ①交通渋滞解消及び安全性の向上
- ②観光施設へのアクセス性が向上

問い合わせ先：

国土交通省 九州地方整備局

長崎河川国道事務所

技術副所長

工務課長

調査第二課長

なかむら

中村

こだま

児玉

ゆきまる

雪丸

のぶ お

信男

ゆういち

祐一

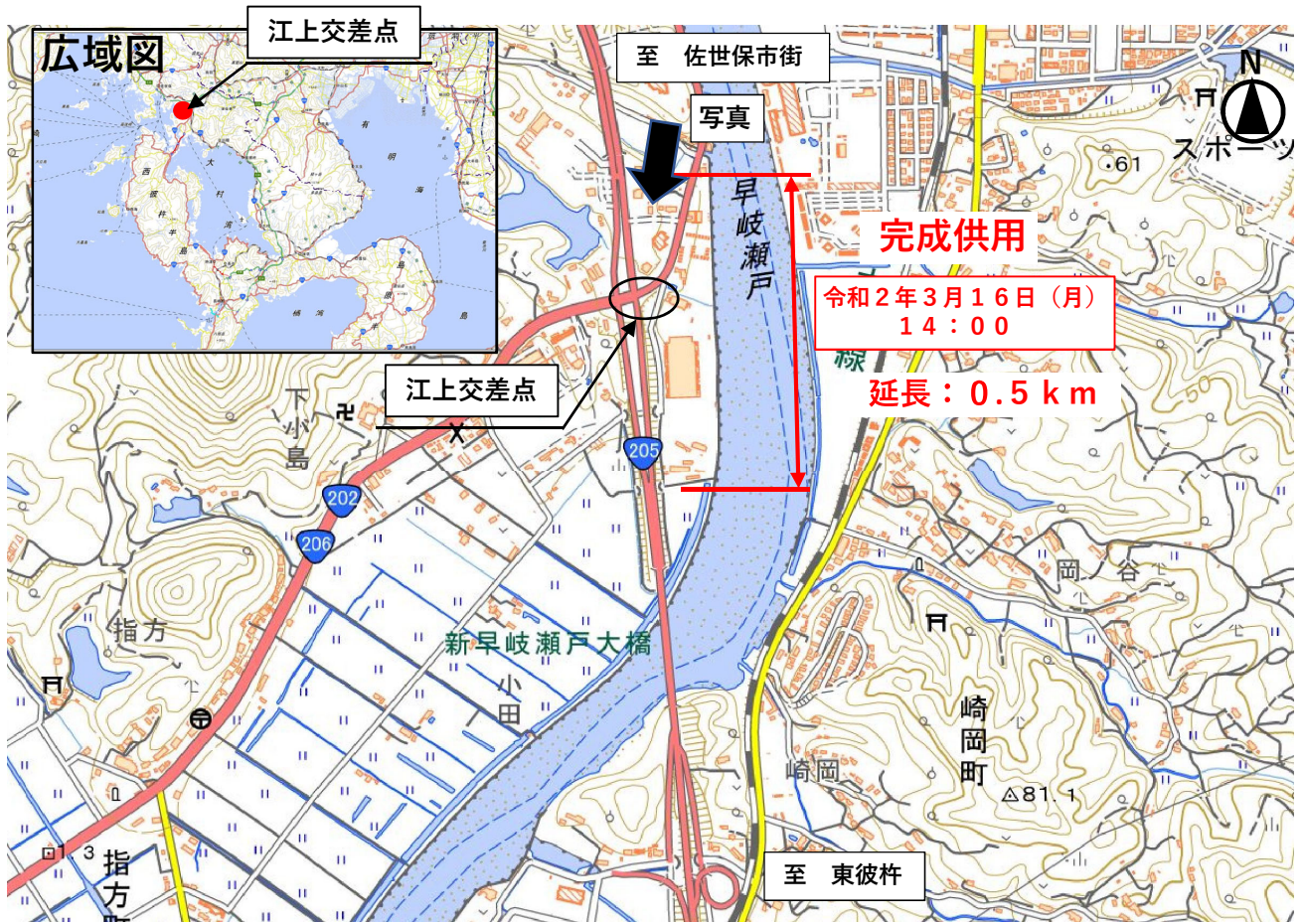
ごう

剛

TEL：095-839-9211（代表）

URL：<http://www.qsr.mlit.go.jp/nagasaki/>

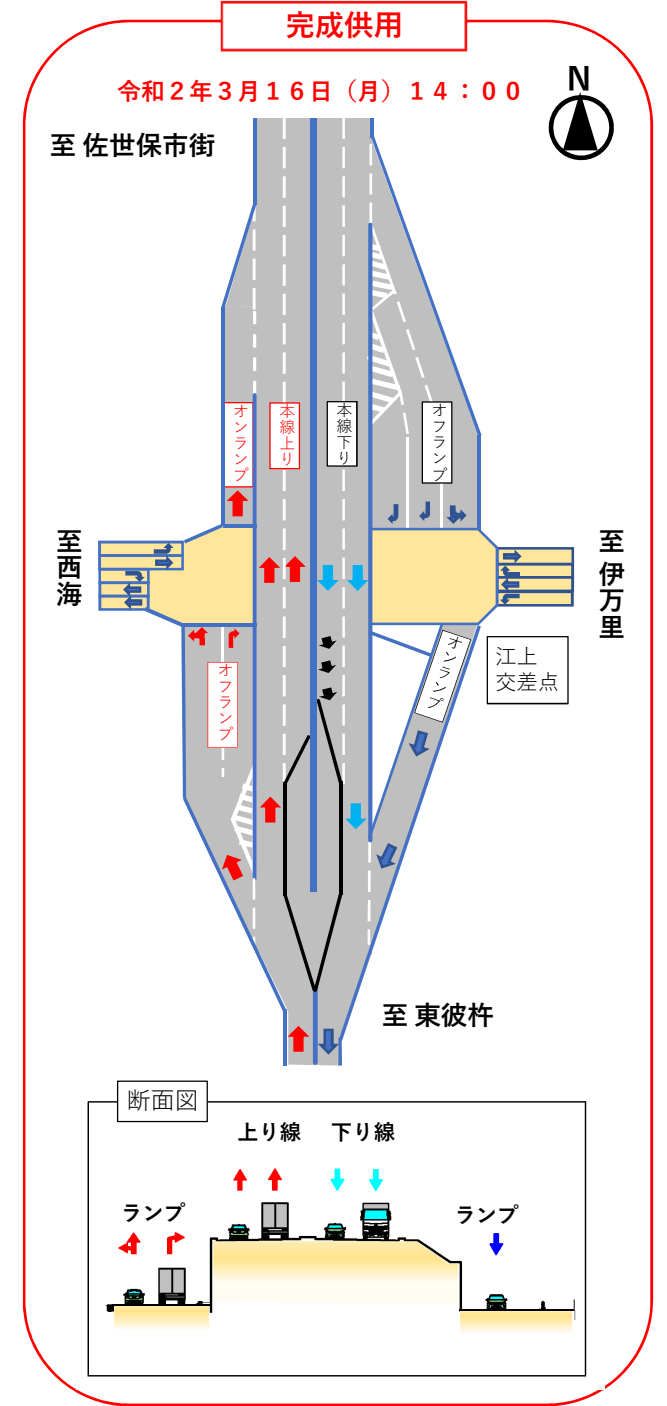
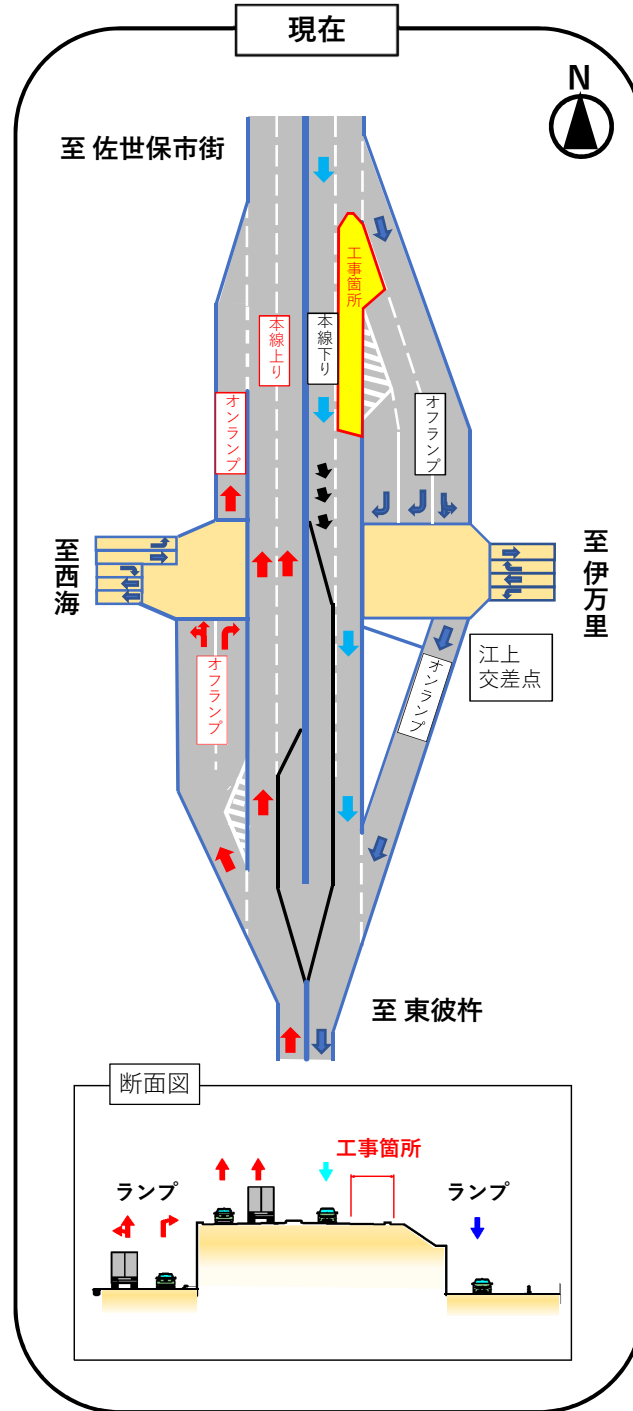
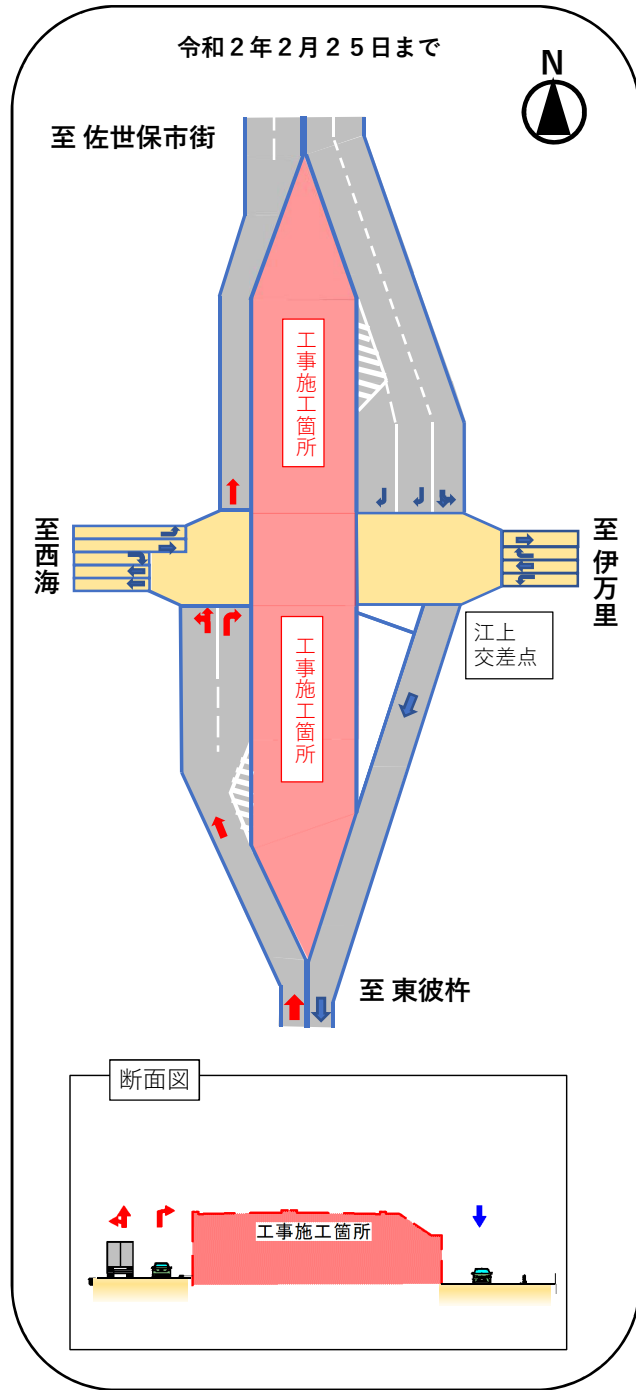
位置図



【江上交差点の立体化工事進捗状況】



進行形態図



江上交差点の立体化により交通渋滞の緩和や交通安全性の向上に期待

えがみ

- 江上交差点の立体化により、大型連休等の交通混雑が緩和し、アクセス向上による観光振興支援が期待される。
- 急な下りこう配での信号停止のため急ブレーキや追突事故が多発しているが、国道205号の直進交通は「信号停止せずに通行する」ことが可能となり、安全性の向上が期待される。

「観光回遊ルート」の渋滞緩和により観光振興支援が期待される

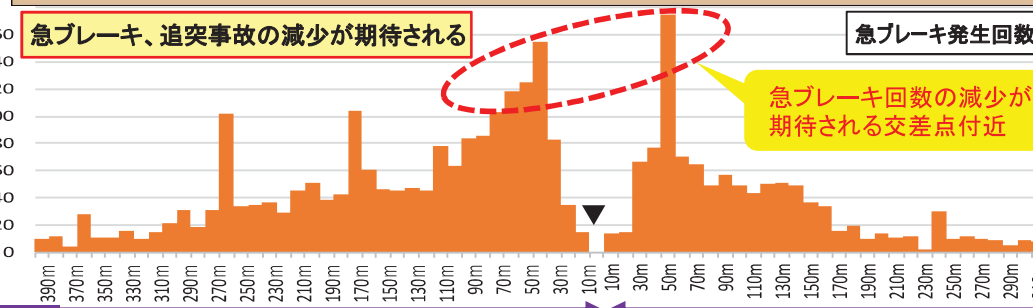
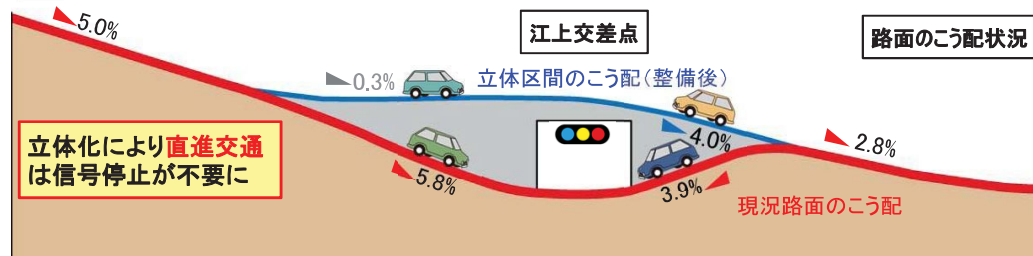
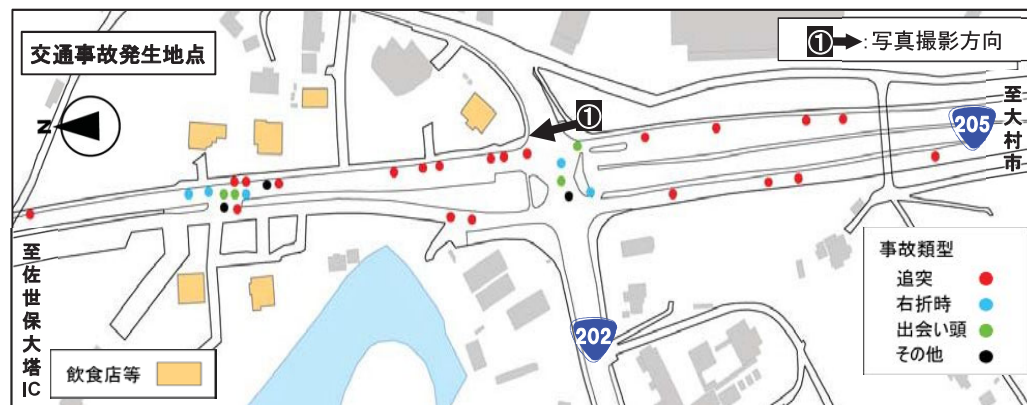
佐世保浦頭地区では、官民連携の国際クルーズ拠点が整備されており、交差点の立体化による交通渋滞の緩和で、定時性の高い「観光回遊ルート」の構築による観光振興支援が期待される



▲GW渋滞の混雑緩和と観光回遊ルートの構築イメージ

※信号待ち車列長は実測値 開通前:H26.5.3(土)

直進交通が信号停止せずに通行可能となり安全性向上が期待される



▲江上交差点付近の交通事故と急ブレーキ発生回数の現状(交差点方向限定)

資料: 交通事故データ: H26~H29 道路のこう配: 道路台帳及び立体計画設計図より
 急ブレーキ回数: ETC2.0 マチSG0.3以上 H30.4~H31.3